

高精度な X グラフィックを高速かつ安全に提供

Windows ユーザは Reflection® X 2011 を使用することで、ローカルまたは世界中のあらゆるデスクトップから、豊富で高精度な X グラフィックアプリケーションに非常に高速にアクセスすることができます。この次世代の X サーバでは、リモートユーザへの対応、管理制御、LDAP 認証によるホストアプリケーション保護が強化されており、お客様の求める柔軟性と必須セキュリティを実現しています。

Reflection X 2011 では、以下のことが可能です。

- Windows ユーザが UNIX、Linux、OpenVMS システム上のグラフィカルアプリケーションおよびテキストベースアプリケーションを使用可能
- OpenGL 2.1、XFree86 BigFont、Sync 拡張機能など最新の X11 標準への対応により、高度にグラフィカルな 2D/3D X アプリケーションを表示
- Windows、UNIX、Linux、Mac の各プラットフォームにおける X セッションの中断と再開
- Reflection X Advantage セッションを 1 つの場所から管理、配布し、ブラウザウィンドウからプログラムを起動することが可能
- 安全なトークン認証への対応により、ホストの前にさらにセキュリティレイヤを追加*
- リモートユーザが、企業のファイアウォールの内側にある X クライアントアプリケーションと安全に接続可能
- 世界各地の従業員が X セッションをリアルタイムで共有し、共同作業を実行
- 低帯域幅/高遅延ネットワークにおけるパフォーマンスが強化された、X アプリケーションへのリモートアクセス

製品の特徴

ホストアクセスの標準化

Reflection X 2011 は、ホストアクセスに関するあらゆるニーズに対応するための機能が 1 つにまとめられたパッケージです。この多目的ソリューションにより、PC X サーバソフトウェア、端末エミュレータ、FTP クライアントを 1 つの Windows プラットフォームで標準化することができます。また、テキストベースの X アプリケーションやグラフィカル X アプリケーションへのアクセスが可能となるほか、ビジネスの継続に必要なファイルを転送する際の安全性も確保されます。

最新の Linux デスクトップへのアクセス

Reflection X 2011 では、Windows PC、Mac OS X ワークステーション、またはその他の Linux ワークステーションから、GNOME および KDE デスクトップを表示することができます。デスクトップセッションは、中断や再開に加え、別のワークステーションへの転送が可能です。また、Reflection X 2011 は RENDER 拡張機能に対応しているため、X アプリケーションのユーザの表示要素（フォントやメニュー項目など）が確実に高速に表示されます。

プロジェクトの継続性と自由な共同作業

今日のモバイル業務環境においては、オフィスでプロジェクトを開始し、その後、別の場所から作業を続けることができる機能が不可欠なものとなっています。また、他の場所にいる同僚やパートナーと共同で作業し、文書やアプリケーションユーザインタフェースをリアルタイムで共有できる必要もあります。Reflection X 2011 の分散型アーキテクチャにより、X アプリケーションの起動、中断、再開、転送、共有が可能になります。

さらに、リモートユーザのセキュリティが強化され、企業のファイアウォールの内側にある X クライアントアプリケーションと安全に接続することができます。また、これらの接続は 1 つのファイアウォールポートのみを経由してチャンネルされるため、攻撃対象箇所を最小限に抑えることができ、各リモート接続が非常に安全となります。

Reflection X 2011 の新機能

- Windows 7、Citrix Ready、VMware Ready ロゴに準拠
- 既存のプラットフォームと新しい仮想化技術に対応
- 安全なトークン認証に対応し、ホストセキュリティを強化*
- ファイアウォール対応のリモートドメイン接続
- 帯域幅と遅延を自動検出し、パフォーマンスを改善
- 64 ビット Windows プラットフォームのネイティブサポート
- 次世代のハッシュアルゴリズムに対応し、通信中のデータの安全性を強化
- 証明書の管理を容易にする Reflection PKI Services Manager



高精度 3D グラフィックの高速描画

Reflection X 2011 は低帯域幅/高遅延ネットワーク接続を自動的に検出して調整し、2D/3D グラフィックアプリケーションを高品質かつ高速で描画します。Windows ユーザは、OpenGL API を活用する CAD/CAM、モデリング、アニメーション、シミュレーションなどの強力なアプリケーションにアクセスし、変換、カラー、ライティング、スムーズシェーディング、テクスチャマッピングといった各種機能を使用することができます。

簡単な管理と複雑なセキュリティ

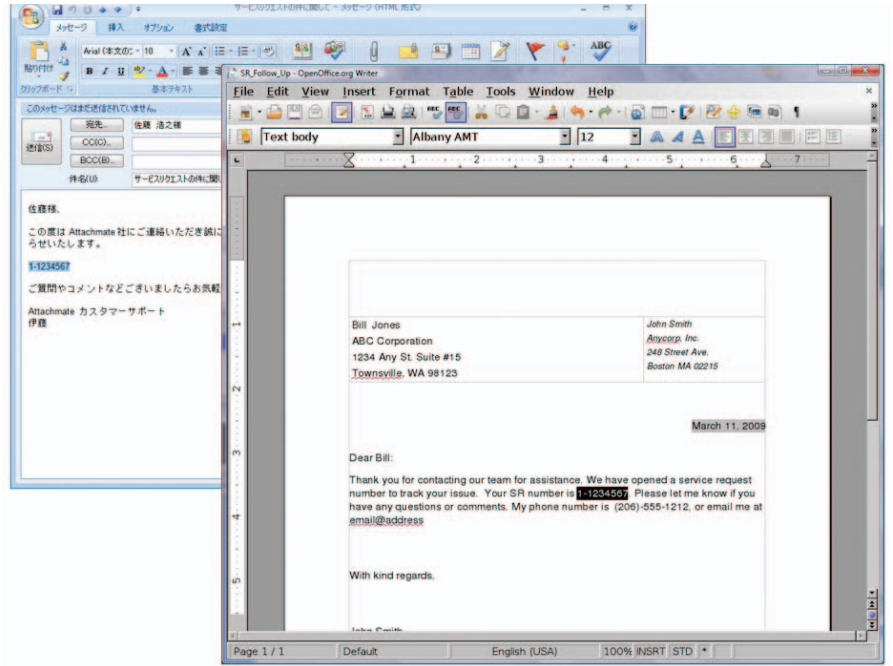
Reflection X 2011 は、社内と社外のセキュリティ要件に対応できるように設計されています。最新の SSH および SSL/TLS 暗号化と認証技術に加え、PKI への対応も強化されているため、証明書関連の機能を一元管理し、ユーザ認証の安全性を確保することができます。また、Reflection には米国連邦政府における最高レベルのセキュリティ標準の 1 つである FIPS 140-2 で認定された暗号モジュールが含まれています。

さらに、安全なトークン認証に対応しており、ホストの前にさらにセキュリティレイヤを追加することができます。*ユーザは LDAP を使ってトークンを受領し、管理サーバーで認証を受ける必要があるため、承認されていないユーザがホストにアクセスすることを防ぐことができます。

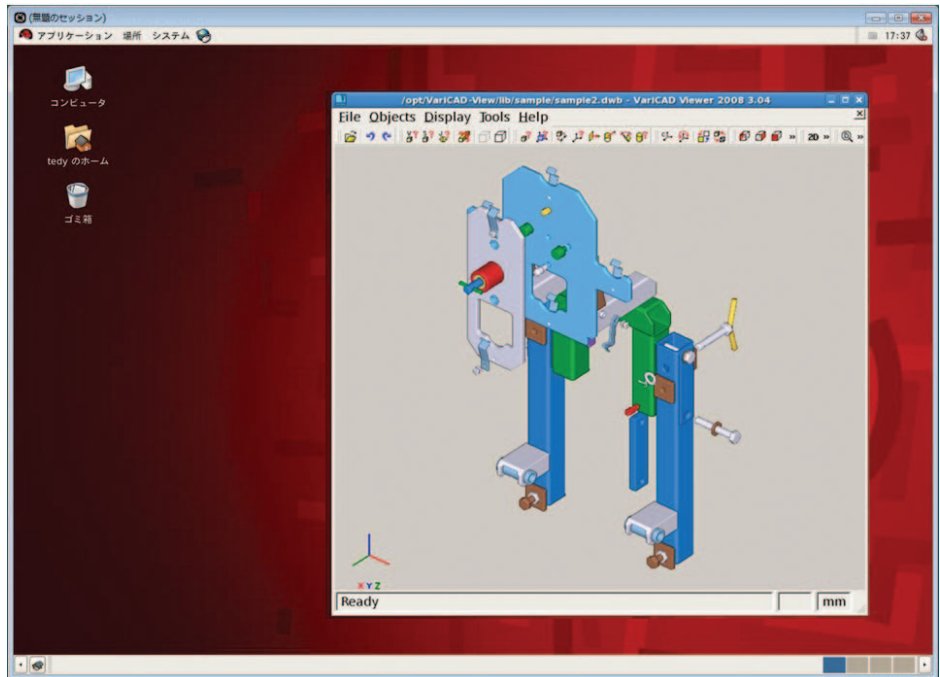
Windows 7 および Office 2010 への対応

Reflection X 2011 に用意されている端末エミュレーションコンポーネントは、Windows 7 と Microsoft Office 2010 のセキュリティ機能および生産性機能を十分に活用できるように最適化されています。信頼された場所、ユーザアカウント制御 (UAC)、Microsoft リボンユーザインタフェース、VBA、.NET、および Windows エラー報告 (WER) に対応することで、Microsoft 製品への投資を最大限に活用できるよう支援します。

* Reflection Administrator (オプションコンポーネント) が必要です。



Windows アプリケーションと UNIX ベースのアプリケーション間で、テキストとグラフィックスを自由自在にコピーして貼り付けることができます。



OpenGL/GLX 対応により、UNIX ベースの 3D アプリケーションへのアクセスが可能になります。

技術仕様

製品コンポーネント

- Reflection X Advantage 4.0
- Reflection X 14.1
- Reflection for UNIX and OpenVMS 2011 端末エミュレーション
- Reflection Secure FTP クライアント

REFLECTION X ADVANTAGE

操作モード

- スタンドアロン X サーバ (従来型)
- NEW** - リモートセッション対応によるパフォーマンスの向上
- ドメインモード (作業負荷および接続を複数の層に分散)

ドメインモード機能

- X クライアント、X サーバ、X セッション構成の一元的な保存
 - 複数の認証タイプに対応 (Windows、PAM、LDAP、内部)
- 高遅延/低帯域幅ネットワークのパフォーマンス最適化
- 永続的な X セッションの中断
- 中断した X セッションへの参加
- 別のワークステーション (同一または異なるプラットフォーム) への X セッションの転送
- フォールトトレランス (ワークステーションの故障やネットワーク停止で失われた X セッションの再開)
- 複数のサーバにおける X セッションの負荷分散
- NEW** • ファイアウォール対応のリモートドメイン接続

X サーバ表示

- X11 準拠
- 複数 X ディスプレイおよび X スクリーンに対応
- 複数ユーザ間での X セッションの共有 (アプリケーションとデスクトップ)
- 複数モニタ対応:
 - 負の座標に対応
- 色深度:1、4、8、24、32
- サーバにおける天然色 (TrueColor)、DirectColor、調合色 (PseudoColor) のビジュアルサポート
- GNOME、KDE、CDE などのローカルおよびリモートウィンドウマネージャに対応
- バックイングストアおよびセーブアンドアに対応
- X セッションへの Web ベースアクセス
- IPv4 および IPv6 対応

セッションとクライアントの起動

- XDMCP (直接、間接、ブロードキャスト)
- SSH、Telnet、rexec、rsh、rlogin などの広範なクライアント接続オプション
- NEW** • 特殊な起動用の新しいコマンドラインオプション

コピーと貼り付け

- X クライアントと Microsoft Windows のローカルアプリケーション間でのテキストとグラフィックのコピーと貼り付け
- X クライアント間でのテキストのコピーと貼り付け

フォント対応

- X11R5/X11R6 フォントサーバ
- フォントサーバへの自動接続
- TrueType フォント、Unicode フォント、および各国語用フォントに対応
- 中国語を含むダブルバイトフォントに対応
- フォントの自動置換

キーボード対応

- 各国語のキーボードに対応
- システムロケール設定に基づく、地域に対応したキーボード選択
- ホストキーボードのエミュレーション: Sun、HP、IBM、SCO、DEC (LK450 を含む)

X 拡張機能対応

- NEW** • 最新の X 関連拡張機能に対応 (RENDER、XFree86 BigFont、Sync など)

OpenGL/GLX

- OpenGL 2.1 および GLX 1.4 に対応
- オーバレイプレーン対応
- アクセラレータ付き 3D ハードウェアに対応

セキュリティ

- SSH 暗号化:
 - SSH X クライアントの起動
 - X11 転送
 - パスワード、キーボード対話型、公開鍵認証
 - SSH 鍵の生成および管理
- NEW** • HMAC-SHA256 および HMAC-SHA512 アルゴリズムに対応
- すべての分散コンポーネント間を TLSv1 で暗号化
- X サーバへの接続が可能なクライアントを決定する、ホストベースのセキュリティ
- FIPS 140-2 検証済み暗号モジュール (証明書 #1048)
- Federal Desktop Core Configuration (FDCC) および United States Government Configuration Baseline (USGCB) のセキュリティポリシー要件に準拠
- Reflection PKI Services Manager 経由で PKI に対応
- NEW** • 企業のファイアウォールの外から X アプリケーションに安全に接続

管理ツール

- X マネージャ:
 - 複数の X クライアントおよびサーバの管理に対応した単一ツール

管理コンソール:

- 設定ファイルを集中管理するための Web コンソール
- Web を利用した設定ファイルと更新モジュールの配布
- ドメインサーバのリモート管理
- セッションおよび接続の監視
- 複数レベルでの詳細なログ記録
- ホストプラットフォーム専用の共通 X クライアントコマンドライン
- NEW** • 安全なトークン認証に対応*
- Java Web Start により、イントラネットのブラウザウィンドウを使ったソフトウェアの配布、更新、起動が可能

各国語への対応

- 日本語、英語、フランス語、ドイツ語に対応したユーザインタフェースおよびヘルプ
- 「オンザスポット」でのインライン入力など、フロントエンド処理におけるあらゆる入力スタイルに対応
- あらゆる言語での構成が可能なローカルフロントエンドプロセッサを導入
 - XIM (X11R5) プロトコルに対応
- 日本語、韓国語、中国語を含むダブルバイトフォントに対応
- 再起動することなく別々のウィンドウで複数のユーザインタフェース言語設定が可能

REFLECTION X 14.1

X サーバ表示

- X11 準拠
- 複数 X ディスプレイおよび X スクリーンに対応
- 複数モニタ対応
- NEW** • 負の座標に対応
- 色深度:1、8、24、32
- 天然色 (TrueColor)、調合色 (PseudoColor)、陰影 (GrayScale)、固定色 (StaticColor)、単色固定 (StaticGray) などの、サーバにおける広範囲のビジュアルサポート
- GNOME、KDE、CDE などのローカルおよびリモートウィンドウマネージャに対応
- Sun X サーバ互換設定
- バックイングストアおよびセーブアンドアに対応
- IPv4 および IPv6 対応

セッションとクライアントの起動

- XDMCP (直接、間接、ブロードキャスト)
- SSH、Telnet、Kerberos 対応の Telnet、rexec、rsh、rlogin、PCX\$SERVER などの広範なクライアント接続オプション

コピーと貼り付け

- X クライアントと Microsoft Windows アプリケーション間でのテキストとグラフィックのコピーと貼り付け
- X クライアント間でのテキストのコピーと貼り付け
- テキスト、領域、およびウィンドウ選択モード
- Windows プリンタおよびグラフィックエディタへのコピー

技術仕様

フォント対応

- ローカルフォントキャッシュ付き X11R5/ X11R6 フォントサーバ
- フォントサーバへの自動接続
- TrueType フォント、Unicode フォント、および各国語用フォントに対応
- フォントの自動置換

キーボード対応

- グラフィカルなキーボード割り当て
- 各国語のキーボードに対応
- ホストキーボードのエミュレーション: Sun, HP, IBM, SCO, DEC (LK450 を含む)

マウス対応

- 3Dconnexion SpaceMouse Plus と SpacePilot に対応
- 3 ボタンのエミュレーション
- ホイールマウスのボタン 4 とボタン 5 によるスクロールに対応

X 拡張機能対応

- RENDER などの最新の X 関連拡張機能をサポート

OpenGL/GLX

- OpenGL 2.1 および GLX 1.4 に対応
- オーバレイプレーン対応
- アクセラレータ付き 3D ハードウェアに対応

セキュリティ

- SSL/TLS に対応
- FIPS 140-2 検証済み暗号モジュール (証明書 #1027)
- Federal Desktop Core Configuration (FDCC) および United States Government Configuration Baseline (USGCB) のセキュリティポリシー要件に準拠
- DoD 標準に準拠する PKI 対応:
 - PKCS #11 対応
 - 米国防総省 Common Access Card (CAC) 対応
 - オンライン証明書状態プロトコル (OCSP) に対応
 - Certificate Revocation List (CRL)
 - LDAP を介した中間証明書の保存
 - Reflection 証明書マネージャ
- シングルサインオン認証用の SSH 鍵および証明書を受け入れる Reflection 鍵エージェント
- SSH 暗号化:
 - SSH X クライアントの起動
 - X11 転送
 - SSH コマンドラインユーティリティ (ssh, scp, sftp)
 - 安全なチャネルを使用した、TCP/IP ポートのポート転送 (トンネリング)
 - 統合されたマルチホップ SSH 構成への対応

- パスワード、キーボード対話型、公開鍵 (ユーザ鍵および X.509 証明書)、Kerberos 認証
- PKCS #11 インタフェースを介したスマートカードへの対応
- SSH 鍵エージェント
- 鍵の生成と変換 (RSA-1, RSA, DSA) ユーティリティ
- SSH サーバへのユーザの公開鍵の容易なアップロード
- SSH 接続の再使用
- SSH 用の標準構成の提供
- Reflection Kerberos クライアント:
 - 安全な認証
 - Telnet および FTP データストリームの暗号化 (DES および 3DES)
 - チケットの転送と更新に対応
 - Microsoft および Leash32 証明書キャッシュ互換
 - Kerberos 用の標準構成の提供
 - Kerberos KDC との通信で TCP と UDP の切り替えに対応
- SSL/TLS Telnet 暗号化

管理ツール

- X マネージャ:
 - 複数の X クライアントおよびサーバの管理に対応した単一ツール
 - すべての構成設定の一括表示
- X プロファイラ:
 - 各 Reflection X 設定の既定値構成
 - エンドユーザ構成のロックダウン
- すぐに起動できるツール:
 - X クライアントウィザード
 - クライアント接続およびサーバ構成用テンプレート
- 問題解決、ユーザのトレーニング、またはプレゼンテーション用のカスタムフィルタ付き X プロトコルトレースおよび再生ユーティリティ
- 以下の Windows 管理機能への対応:
 - Windows インストーラ (MSI)
 - Active Directory
 - ローミングユーザプロファイルと複数ユーザプロファイル
 - グループポリシー
 - アプリケーションの自己修復

各国語への対応

- 日本語、英語、フランス語、ドイツ語に対応したユーザインタフェースおよびヘルプ
- 「オンザスポット」でのインライン入力など、フロントエンド処理におけるあらゆる入力スタイルに対応
- あらゆる言語での構成が可能なローカルフロントエンドプロセッサを導入
 - XIM (X11R5) プロトコルと XIMP (X11R4) プロトコルに対応
- 日本語、韓国語、中国語を含むダブルバイトフォントに対応

REFLECTION FOR UNIX AND OPENVMS 2011

エミュレーションの種類

- VT 端末 (日本語端末を含む)
- UTF-8 (Unicode) など、数多くのホスト文字セットに対応
- Wyse 50+, Wyse 60, SCO-ANSI, BBS-ANSI
- Linux コンソール、AT386, IBM 3151, xterm, VT-UTF8
- ReGIS (VT340, VT330, VT241, VT240) および Tektronix グラフィック端末エミュレーション

ネットワークプロトコル

- IPv4 および IPv6 対応
- SOCKS クライアントに対応
- スレッド I/O、回線モード、NAWS (オプション 31)、Telnet オプション 45 (ローカルエコーの抑止) を含むローカルエコーに対応する様々な Telnet オプション
- シリアル接続に対応

ファイル転送

- WRQ Reflection 独自のプロトコル、FTP, Kermit, Xmodem, Zmodem
 - ASCII、バイナリ、ラベルイメージに対応

セキュリティ

- SSL/TLS、Kerberos、SOCKS に対応
- FIPS 140-2 検証済み暗号モジュール (証明書 #1027)
- Federal Desktop Core Configuration (FDCC) および United States Government Configuration Baseline (USGCB) のセキュリティポリシー要件に準拠
- DoD 標準に準拠する PKI 対応:
 - PKCS #11 対応
 - 米国防総省 Common Access Card (CAC) 対応
 - オンライン証明書状態プロトコル (OCSP) に対応
 - Certificate Revocation List (CRL)
 - LDAP を介した中間証明書の保存
 - Reflection 証明書マネージャ
- シングルサインオン認証用の SSH 鍵および証明書を受け入れる Reflection 鍵エージェント
- SSH 暗号化:
 - SSH X クライアントの起動
 - X11 転送
 - SSH コマンドラインユーティリティ (ssh, scp, sftp)
 - 安全なチャネルを使用した、TCP/IP ポートのポート転送 (トンネリング)
 - 統合されたマルチホップ SSH 構成への対応
 - パスワード、キーボード対話型、公開鍵 (ユーザ鍵および X.509 証明書)、Kerberos 認証
 - PKCS #11 インタフェースを介したスマートカードへの対応

技術仕様

- SSH 鍵エージェント
- 鍵の生成と変換 (RSA-1, RSA, DSA) ユーティリティ
- SSH サーバへのユーザの公開鍵の容易なアップロード
- SSH 接続の再使用
- SSH 用の標準構成の提供
- Reflection Kerberos クライアント:
 - 安全な認証
 - Telnet および FTP データストリームの暗号化 (DES および 3DES)
 - チケットの転送と更新に対応
 - Microsoft および Leash32 証明書キャッシュ互換
 - Kerberos 用の標準構成の提供
 - Kerberos KDC との通信で TCP と UDP の切り替えに対応

生産性

- Microsoft Office との統合
- アプリケーション、デスクトップ、インターネット検索に対応
- 画面履歴
- スクラッチパッド
- 高度な切り取り/コピー/貼り付け機能
- キーボードとマウスの割り当ておよび再割り当て
- NEW** • マウスのトリプルクリックに対応

印刷

- Windows またはホストによる制御
- ネットワーク印刷、ローカル印刷、ディスクへの出力
- ReGIS カラーグラフィックへの対応
- 印刷記録
- 固定ピッチの TrueType フォントとプリンタフォント
- シリアルデバイスとホストとの通信
- 線描文字

プログラミングと自動化

- NEW** • 埋め込み可能な .NET コントロール
- ネイティブ .NET API
- Reflection .NET API と Microsoft Visual Studio IDE との統合
- VBA に対応
- VBA のマクロ収録機能
- Reflection API を介した、400 を超えるプロパティとメソッドへのプログラムによるアクセス
- Microsoft OLE オートメーション
- EXTRA! Basic および Reflection Basic マクロのランタイムおよび編集
- Reflection コマンド言語 (RCL)
- NEW** • 暗号化された EXTRA! に対応 Basic マクロ

ユーザインタフェース

- NEW** • ブラウザ UI モード
- Attachmate による Microsoft のリボンユーザインタフェースの実装
- EXTRA! および Reflection のクラシックモードインタフェース
- リボンカスタム設定ユーティリティ
- MDI のタブ表示およびウィンドウ表示
- 色や名前を変更できる設定可能なタブ
- ローカルおよびオンラインの HTML ヘルプ
- カスタマイズ可能なホットスポット
- 全画面端末モード
- グラフィカルなキーボード割り当て
- フルカラー編集

管理ツール

- 処理単位レベルのユーザアカウント制御 (UAC) への対応
- Reflection Administrator との統合:*
 - 設定ファイルを集中管理するための Web コンソール
 - Web を利用した設定ファイルと更新モジュールの配布
- Windows エラー報告 (WER) に対応
- グループポリシーによる設定ファイルの集中管理
- 設定およびインストールファイル用のアプリケーションカスタム設定ツール (MSI を含む)
- 以下の Windows 管理機能への対応:
 - Windows インストーラ (MSI)
 - Active Directory
 - ローミングユーザプロファイルと複数ユーザプロファイル
 - グループポリシー
 - アプリケーションの自己修復

各国語への対応

- 日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語 (ブラジル) の各国語に対応
- 各国言語のキーボード、ディスプレイ、プリンタ
- 標準入力方式エディタに対応

共通の仕様

ファイル転送

- Reflection Secure FTP クライアント:
 - NEW** - SFTP 4.0 に対応しており、国際文字を適切に変換
 - SSH, SSL/TLS, SOCKS, Kerberos セキュリティプロトコル
 - 広範なファイアウォールに対応
 - TSO データセットが含まれる z/OS ホスト上でのファイルの参照
 - レイアウトに FTP クライアントセッションを保存
 - Reflection Administrator* による FTP 設定の管理*
 - IPv4 および IPv6 対応
 - FTP クライアントによる UNIX ファイルのアクセス許可の変更
 - 中断された SFTP ダウンロードの再開
 - 各種 FTP サーバ (UNIX, NetWare, Unisys, HP 3000, OpenVMS) に対応
 - FTP サイトウィザード
 - 複数の FTP サーバでサイト間転送
 - XML 形式での設定のエクスポートやインポート
 - ワイルドカードフィルタ
 - 自動化ツール (スクリプトレコーダおよび Microsoft OLE オートメーション)
 - ドラッグアンドドロップによるデスクトップへの直接的なファイル転送

オペレーティングシステムとプラットフォーム

- Microsoft Windows 7**
- Microsoft Windows Vista**
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Server 2003 ターミナルサービス
- Microsoft Windows Server 2008 ターミナルサービス
- Mac OS X 64 ビット***
- Linux 32 ビットおよび 64 ビット***
- Solaris 32 ビットおよび 64 ビット***
- Solaris SPARC 32 ビット***
- HP-UX PA-RISC 32 ビットおよび 64 ビット***
- HP-UX Itanium 64 ビット***
- Citrix XenApp
- Microsoft App-V
- VMware

* Reflection Administrator はオプションのコンポーネントです。

** 32 ビット版および 64 ビット版。

*** Reflection X Advantage のみ。

Attachmate について

Attachmate は、端末エミュレーション、レガシーの近代化、管理されたファイル転送、全社的な不正行為対策を実現するための最新ソフトウェアをご提供します。世界中の65,000社を超えるお客様が、当社の技術により、IT資産の新たな有効活用をはかっています。詳細については、次のサイトをご覧ください。www.attachmate.jp



日本支社
NetIQ 株式会社 Attachmate 事業部
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町1-1
住友市ヶ谷ビル 9階
TEL 03-3513-5111 FAX 03-3513-5112
E-mail j-info@attachmate.com
URL www.attachmate.jp

米国本社
1500 Dexter Avenue North
Seattle, WA 98109 USA
TEL +1 206-217-7500
FAX +1 206-217-7515
URL www.attachmate.com

*NetIQ 株式会社は米国 Attachmate Corporation の 100% 子会社です。

【販売代理店】

CYBERNET

サイバネットシステム株式会社

本社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル
Tel: (03)5297-3487 Fax: (03)5297-3646
中部支社 Tel: (052)219-5900 Fax: (052)219-5970
西日本支社 Tel: (06)6940-3600 Fax: (06)6940-3601

■ <http://www.cybernet.co.jp/reflection/> ■ rinfo@cybernet.co.jp

本書は、情報提供の目的でのみ使用され、予告なく変更することがあります。

© 2011 Attachmate Corporation. All rights reserved. Attachmate, Attachmate ロゴ、および Reflection は、米国における Attachmate Corporation の登録商標です。Windows 7 および Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の商標です。IBM は、International Business Machines Corporation の登録商標です。Citrix は Citrix Systems, Inc. の登録商標、Citrix Ready ロゴは Citrix Systems, Inc. の商標です。VMware および VMware Ready は、米国およびその他の管轄地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。本ドキュメントに記載されているその他の商標、商号、または企業名はそれぞれの所有者の商標です。Attachmate 製品には、OpenSSL Project によって OpenSSL Toolkit (www.openssl.org) 用に関連されたソフトウェアが含まれていることがあります。規約: この文書では、公式なテスト手順に従って Attachmate 製品が取得したサードパーティ認証について記載しています。このような認証は、Attachmate およびサードパーティの保証の対象外です。10-0026JC.1011